

北広島市保健福祉計画検討委員会
第2回 障がい福祉部会

日 時：平成26年10月8日（水） 午後6時30分～午後7時40分

場 所：北広島市中央会館 2階 学習室

◇北広島市保健福祉計画検討委員会委員

出席者：板垣委員（部会長）
富田委員（職務代理者）
野口委員
狩野委員
道下委員
松坂委員
若狭委員
長谷川委員

欠席者：なし

◇事務局

木下保健福祉部長
徳村保健福祉部次長
木下福祉課長
柄澤福祉課主査
川又福祉課主査

◇傍聴者 1名

《議事概要》

1 開会

2 部会長挨拶

3 報告事項

事務局：(1) 障がい者福祉計画・第3期障がい福祉計画の評価、課題及び今後の方向性について、資料1と資料2をもとに説明。

委員：日常生活用具の給付について、用具の不足が生じるような状況はないか。

事務局：制度としては、市で用具を抱えるのではなく、事業者から購入する費用を市が助成することになってるので、不足は生じてはいない。

委員：虐待の把握は、どのようにして行われたのか。

事務局：平成25年度の把握分については、本人から市に直接通報という形で入ってきた。また、平成26年度の把握分については、相談支援事業所から市に連絡があった。

委員：小説などを点訳したものなどについて、著作権関係の問題は無いのか。

事務局：点字関係については、サピエという、国で本などを点訳したデータベースを構築しており、会員がそのシステムに登録済みのデータを取得できるため、著作権の問題は生じない。市ではそのシステムに登録しており、年会費の4万円を負担している。また、サピエには音声データも入っており、朗読の代替としても活用できる。

委員：重症心身障がい者について、市内外別のサービス利用者数内訳がわかる資料はあるか。

事務局：本日は、用意していない。

委員：短期入所の利用実績については、市外の施設を使用しても1件としているか。

事務局：そのとおり。

委員：自立支援医療の更生医療や精神通院医療の伸びが大きいように見えるが、市外の病院の利用者も含んでいるのであれば、市町村別の内訳はわかるか。

事務局：本日はデータはないが、精神通院医療については市内に該当施設が1か所しかないので、特に札幌市の病院に通院している方が多いようである。今後、市で把握しているデータについては、集計し提示したい。

事務局：(2) アンケート調査の実施結果について説明。

部会長：質疑応答については、次回の部会を出していただくこととしたい。(了承)

4 その他

事務局：今後のスケジュールについて、資料3をもとに説明。

次回開催を、平成26年10月27日(月)としたい。

(異議なし、承認)

閉会